



学校評価アンケートの結果から

学校評価アンケート(児童・保護者・教職員)の評価結果についてご紹介いたします。保護者の皆様のご理解とご協力に深く感謝しております。アンケート結果については、校内の各部会等で今年度の成果や課題、次年度に向けての改善の方向性を検討し、2月26日の学校運営協議会でPTAや地域の方々からご意見をいただき、次年度の教育活動に反映させていきます。ご家庭や地域の皆様におかれましては、今後も様々な機会にご意見やご助言をいただければ幸いです。

令和7年度 苫小牧市立北星小学校 学校評価アンケート集計結果 4十分当てはまる 3まあ当てはまる 2あまり当てはまらない 1当てはまらない ?分からない(%)

		アンケート項目	当てはまる割合	4	3	2	1	?	
1	児童	学校の勉強は好きですか。	94.3	56.0	38.3	4.6	1.1	0.0	100
	保護者	お子さんは、意欲的に学習に取り組んでいると思いますか。	80.3	29.7	50.7	10.3	4.3	5.0	100
	教職員	児童の学ぶ意欲を高める授業を行っていると思いますか。	95.5	40.9	54.5	4.5	0.0	0.0	100
2	児童	授業の内容はよく分かりますか。	96.8	55.9	40.9	2.1	1.1	0.0	100
	保護者	お子さんは、授業が分かりやすいと言っていますか。	76.0	33.0	43.0	10.0	2.3	11.7	100
	教職員	「分かる・できる」が実感できる授業を行っていると思いますか。	90.9	18.2	72.7	9.1	0.0	0.0	100
3	児童	家庭学習を目標の時間以上にやっていますか。(学年×10分+10分)	76.6	38.7	37.9	17.4	6.0	0.0	100
	保護者	お子さんは、家庭学習の習慣が身に付いていると思いますか。	61.0	26.7	34.3	25.3	12.3	1.3	100
	教職員	家庭学習の定着を図っていると思いますか。	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100
4	児童	進んで読書をしていますか。	68.1	42.7	25.4	21.9	10.0	0.0	100
	保護者	お子さんは、進んで読書をしていると思いますか。	45.0	18.7	26.3	30.0	22.7	2.3	100
	教職員	読書習慣を育成する手立てを図っていると思いますか。	86.4	50.0	36.4	13.6	0.0	0.0	100
5	児童	あいさつができていますか。	95.7	71.3	24.5	3.9	0.4	0.0	100
	保護者	お子さんは、あいさつができていますか。	86.3	41.3	45.0	8.7	1.3	3.7	100
	教職員	あいさつや礼儀などの社会性を育む指導を行っていると思いますか。	100.0	54.5	45.5	0.0	0.0	0.0	100
6	児童	きまりや約束を守っていますか。	93.3	64.5	28.7	5.0	1.8	0.0	100
	保護者	お子さんは、学校のきまりや約束を守っていると思いますか。	89.0	46.0	43.0	5.0	1.7	4.3	100
	教職員	学習規律・生活規律の指導を徹底していると思いますか。	90.9	31.8	59.1	9.1	0.0	0.0	100
7	児童	自分や友達のよいところを見つけることができますか。	92.9	65.8	27.0	5.3	1.8	0.0	100
	保護者	お子さんは、自分や友達のよいところを見つけることができますか。	80.7	28.3	52.3	5.3	1.7	12.3	100
	教職員	児童の成長や頑張りを評価して、自己肯定感を育む指導を行っていると思いますか。	86.4	31.8	54.5	13.6	0.0	0.0	100
8	児童	友達にやさしくしていますか。	96.5	68.8	27.7	1.8	1.8	0.0	100
	保護者	お子さんは、思いやりの心が育っていると思いますか。	91.0	33.0	58.0	3.0	1.7	4.3	100
	教職員	道徳教育や特別活動等を通して、思いやりの心を育む指導を行っていると思いますか。	100.0	40.9	59.1	0.0	0.0	0.0	100
9	児童	学校は楽しいですか。	86.5	60.3	26.2	6.7	6.7	0.0	100
	保護者	お子さんは、楽しく学校に通っていると思いますか。	86.3	43.0	43.3	7.0	4.0	2.7	100
	教職員	児童が楽しく学校に通えるよう、心の居場所づくりに努めていますか。	90.9	40.9	50.0	9.1	0.0	0.0	100
10	児童	進んで体力づくりに取り組んでいますか。	87.5	63.9	23.6	7.9	4.6	0.0	100
	保護者	お子さんは、進んで体力づくりに取り組んでいると思いますか。	70.0	39.7	30.3	19.7	5.7	4.7	100
	教職員	体育の授業や体力づくりの取組を通して、体力向上を図っていると思いますか。	90.9	22.7	68.2	9.1	0.0	0.0	100

11	児童	早寝・早起き・朝食など規則正しい生活ができていますか。	78.3	40.9	37.4	15.7	6.0	0.0	100
	保護者	お子さんは、早寝・早起き・朝食など規則正しい生活が身に付いていると思いますか。	72.2	30.8	41.5	19.1	8.0	0.7	100
	教職員	規則正しい生活習慣の定着を図っていると思いますか。	86.4	31.8	54.5	13.6	0.0	0.0	100
12	児童	先生は困ったり、悩んでいたら相談に乗ってくれますか。	96.1	76.2	19.9	2.1	1.8	0.0	100
	保護者	学校は、保護者の相談や児童の悩みに適切に対応していると思いますか。	86.0	41.1	44.8	3.0	1.7	9.4	100
	教職員	保護者の相談や児童の悩みに耳を傾け、素早く適切に対応していると思いますか。	100.0	31.8	68.2	0.0	0.0	0.0	100
13	保護者	学校は、通信や参観日等を通して、学校の取組や児童の様子を伝えていると思いますか。	95.3	52.2	43.1	2.3	0.7	1.7	100
	教職員	通信や懇談会等を通して、学校の取組や児童の様子を伝えていると思いますか。	90.9	31.8	59.1	9.1	0.0	0.0	100
14	保護者	学校は、安全対策(不審者・交通安全・災害等)を適切に行っていると思いますか。	94.7	50.7	44.0	0.7	0.0	4.7	100
	教職員	安全対策(不審者・交通安全・災害等)を適切に行っていると思いますか。	100.0	40.9	59.1	0.0	0.0	0.0	100

全てのアンケートで、4 + 3 (肯定的な意見) の割合が80%以上なら、だいたい満足のいく結果とすることができる

◎成果

- 最も高い数値(三者とも90%を超えたもの)となったのが、昨年同様「思いやりの心」であり、児童96.5%・保護者91.0%・教師100%となった。周りとの人間関係を深めていく上でとても大切になる「相手を思いやる心」が育っていることが分かり、これからも大切にしていきたい。
- 「意欲を高める授業」も、保護者以外90%を超えていて(児童94.3%、保護者80.3%、教師94.5%)と高い数値となった。学校生活で最も時間を費やしている授業について、教職員が日々教材研究を行い、工夫を重ねながら授業づくりを行った成果だと言える。
- 保護者アンケートで最も高い数値だったのが、昨年同様「学校の様子の啓蒙活動」で95.3%となった。学校だよりや時間割の学年通信などを掲載し、PTA活動でのアンケート活用や様々な行事案内や出欠をとる際にさくら連絡網を活用したことで、このような高い数値になったと考えられる。
- 「安全対策」も高い数値(保護者94.6%)となっていて、避難訓練や児童引渡し訓練や交通安全教室の実施について、保護者も子供もきちんと理解しているため、このような結果になった。
- 児童アンケートで最も高い数値だったのが、「わかるできるを実感する授業」96.8%となった。教師がタブレットも適宜活用しながら工夫した授業を行うことで、児童の理解が進んだ結果と考えられる。今後もタブレット等のICTを活用した授業づくりを行っていくことが大切である。
- 「相談・悩みへの対応」も96.1%と高い数値となっていて、何か困ったことや相談があったときに、すぐに担任や担任外の教師に相談できる状況であることが分かる。

◎課題・次年度に向けて

- 児童・保護者ともに最も低い数値となったのが「読書習慣の育成」であり、児童68.1%(65.3)、保護者45.0%(40.0)%となったが、昨年度よりは数値は少し上がっている。図書ボランティアの活動や読み聞かせの機会など、読書に親しむ機会は多く取っているが、保護者に上手に伝わっていないことが考えられる。また、読み聞かせの協力についても、限られた保護者のみで行われるので、次年度に向けての改善方法を考えていく。さらに、休み時間等も読書以外に他に魅力を感じる活動があるとも考えられる。
- 「家庭学習の定着」も、児童76.6%(73.3)、保護者61.0%(64.6)と低い数値となった。児童は少し上がったが、保護者は少し下がった。今年度も家庭学習強化週間を設け、見本となる家庭学習ノートの掲示もしたが、各学年設定時間を超える時間行えなかったと考える。年度初めからタブレットを活用した持ち帰り学習を定期的に行っているし、宿題の時間も家庭学習とおさえ、家庭での学習の捉え方を再確認する必要があるのではないかと考える。
- 保護者アンケートで「わかる・できるを実感する授業」76.0%と「規則正しい生活習慣」72.2%と低い数値となった。「わかる・できる授業」については、授業を直接見る機会が参観日しかなく、それだけでは判断できないと考える(分からないと回答した保護者11.7%【昨年15%】)。もっと授業についての情報発信を行うなど工夫が必要だと考える。「規則正しい生活習慣」については、「早寝・早起き・朝ごはん」を指導したり、たよりに掲載したり、長期休業明けには生活リズム週間を設けたり、意識付けを図ることはできたが、身に付くまでにはいかなかった。また、「体力向上」についても70.0%(昨年75.0%)も低い数値となっている。これについても、直接見ているわけではなく、児童から聞いている内容で判断しているからと考えられる。外遊びの奨励や休み時間の遊んでいる様子等の情報発信の強化が必要である。
- 昨年度と比較して「心の居場所づくり」楽しく学校生活を送っている項目で、児童86.5%(94.4)、保護者86.3%(89.3)と8%・3%減の数値となった。学校よりも家でゲームをやっている方が楽しいと感じたり、学校での楽しい取組が保護者に伝わらなかったため、より工夫した啓蒙方法が必要。